

ガス事故防止のための 「7つのお願い」

[1] 計画 の時のお願い

土木・建築工事を計画される場合は、**ガス管の有無**をまず**東京ガス山梨**へ照会して下さい。

照会によって工事範囲のガス管を確認し、工事概要(工法、工期、工程)をお知らせするんですね。



[2] 設計 の時のお願い

ガス管の正確な位置を確認するんですね。

設計前に、試掘を行って埋設物を確認する場合は、立ち会います。



[3] 工事着手 の時のお願い

ガス施設の付近で工事を行うときは、着手の前に、必ず工事についての照会文書を提出するんですね。

どんな小さな工事でも連絡するんですね。

ガス施設に対する注意事項や工事中の立ち会いなどについての打合わせをします。



[4] 掘削 の時のお願い

ガス管周囲0.5m以内の掘削はかならず刃先誘導員が手掘りで掘削するんですね。

ガス管付近、0.5m以内では管を視認して、掘削機等は使用せず、かならず手掘りで掘削して下さい。

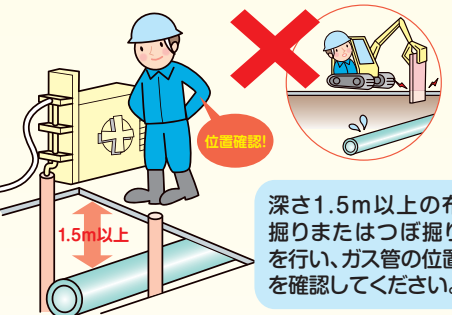


[5] 杭打ち 薬注ボーリング の時のお願い

ガス管の塗覆装を傷つけないように慎重に行ってください。

深さ1.5m以上の布掘りまたはつぼ掘りを行い、ガス管の位置を確認してください。

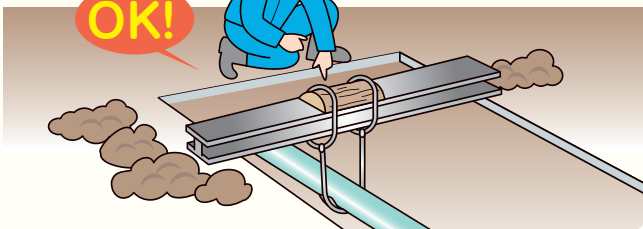
●ガス管の上面が露出するまで手掘りを行い、確認するようお願いいたします。



[6] ガス管防護 の時のお願い

事前協議時の防護方法に沿って施工いただくようお願いいたします。

OK!



[7] 埋戻し の時のお願い

ガス管の下が空洞にならないように注意して埋戻しを行うんですね。



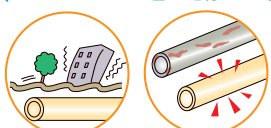
ガス管の損傷を防ぐため、良質な土を使用して下さい。

ポリエチレン管

当社では、耐食性、耐震性等に優れたガス管材料として、ポリエチレンを用いたガス管の普及拡大を進めています。
(PE=ポリエチレン管の略称です。)

ポリエチレン管は、スコップ、カジャ棒、つるはし等でも損傷することがあります。

ポリエチレン管の埋設してある現場の掘削は慎重に行うんですね。



地震に強く腐食しません



ガス施設と、地下構造物(埋設物)とは、**並行部30cm以上、交差部15cm以上**の離隔距離をとるんですね。

30cm以上!

